

公益財団法人 8020 推進財団  
平成 28 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名：フロリデーション(水道水フッ化物濃度調整)についての啓発活動

2. 申請者名：公益社団法人 富岡甘楽歯科医師会

3. 実施組織名：

富岡甘楽歯科医師会、富岡市、下仁田町、南牧村、甘楽町、下仁田町健康づくり推進協議会  
下仁田町保健推進員協議会、下仁田町フロリデーション推進会議、住民組織、日本口腔衛生学会(学術支援)

4. 事業の概要：

富岡甘楽歯科医師会は、WHO(世界保健機関)が推奨する最も優れた公衆衛生的なむし歯予防対策である水道水フロリデーションを、富岡甘楽地区に普及させたいと考えている。フロリデーションが実施されれば、子供から高齢者まで、給水地域で生活する住民すべてが、生涯を通じてむし歯予防の恩恵を受けることが可能になり、健康格差の解消にもつながる。フロリデーションの実施により、むし歯が大幅に減少すれば、国が提唱する8020運動の実現に大きく貢献する。さらに、歯が残り咀嚼力が保持されることにより、全身的な病気の予防や健康増進にもつながり、将来は健康寿命の延伸や医療費の抑制に結びつくと考えられる。

5. 事業内容：

富岡甘楽歯科医師会は、フロリデーションの実施をめざした啓発活動の一環として、市町村や関係団体と連携して下記の事業を実施した。活動の内容は、教育媒体の開発と配布(2)～(11)、啓発現場活動の実践(1)(13)(16)(17)、広報活動(12)、組織活動(14)、学会での発表(15)など、多岐にわたっている。

- (1) 歯と口の健康週間行事「歯と口の健康フェア 2016」(第 31 回)を開催(フロリデーション啓発コーナーを設置)
- (2) パンフレット「歯周病を防ぐには」(発行 公益社団法人富岡甘楽歯科医師会)の配布と改訂版の制作
- (3) パンフレット「フッ化物でむし歯予防」(発行 公益社団法人富岡甘楽歯科医師会)の配布と改訂版の制作
- (4) リーフレット「一生自分の歯で食べるために」(平成 24 年度版)の配布(平成 24 年度事業からの継続)
- (5) リーフレット「一生自分の歯で食べるために」(平成 23 年度版)の配布(平成 23 年度事業からの継続)
- (6) リーフレット「フロリデーション 水道水とフッ化物でみんなの歯を健康に」の配布(平成 22 年度事業からの継続)
- (7) リーフレット「フッ化物でむし歯を減らす いろいろな方法」の配布(平成 21 年度事業からの継続)
- (8) リーフレット「Do you know Fluoridation ?」の配布(平成 20 年度事業からの継続)
- (5) (6) (7) (8)は、発行:富岡甘楽歯科医師会 監修:厚生労働科学研究「フッ化物応用の総合的研究班」
- (9) フロリデーション啓発用の風船配布(歯と口の健康フェア、親と子のよい歯のコンクール、夏祭り、健康祭等で利用)
- (10)フロリデーション啓発ポスターの掲示(平成 19 年度事業からの継続)
- (11)クリアファイル「知っていますか? フロリデーション」の利用(平成 20 年度事業からの継続)
- (12)富岡甘楽歯科医師会のホームページの充実(フッ化物利用とフロリデーションについての情報を提供)
- (13)フッ化物洗口説明会を利用した啓発(フロリデーションが最も優れた公衆衛生的なむし歯予防法)
- (14)富岡保健福祉事務所の歯科保健連絡調整会議(フロリデーションについても意見交換)
- (15)第 65 回日本口腔衛生学会シンポジウムでの発表「水道水フロリデーション啓発活動の経緯と今後の展望」
- (16)下仁田町保健センターに設置されたフロリデーションモデル装置の活用(フロリデーション水の試飲等)
- (17)下仁田町フロリデーション推進会議主体の活動(夏祭りへの参加など)

6. 実施後の評価(今後の課題)：

富岡甘楽歯科医師会は、平成 19 年度から 28 年度まで 10 年連続で歯科保健活動助成の交付を受け、水道水フロリデーション啓発活動を実施してきた。フロリデーションの資料を全世帯に配布するなどの啓発活動を継続した結果、ある程度の知識を持つ住民は確実に増加してきた。歯科医師会では、毎年、フッ化物利用の推進やフロリデーション啓発活動の実施が明記された事業計画が、総会において全員一致で承認されている。また、平成 24 年 4 月に会が公益社団法人に移行した時、「住民のむし歯予防を目的に最良の公衆衛生的な対策である水道水フッ化物濃度調整(フロリデーション)を啓発する事業」が、会が実施する 12 の公益目的事業のひとつに位置付けられた。

しかし、現状では、水道水フロリデーションの実施に対して、国や県などの支援が十分とは言えない。市町村が単独でフロリデーションを実施することの困難さについても十分認識されているので、啓発事業には協力しても、実施については消極的になる行政の担当者が多いのと思う。

今後、国や県の積極的な支援があれば、富岡甘楽歯科医師会の管内で、フロリデーションを実施するための環境が十分に整うと考えている。是非、国レベルの環境整備をお願いしたい。